

鶴見川出張所だより

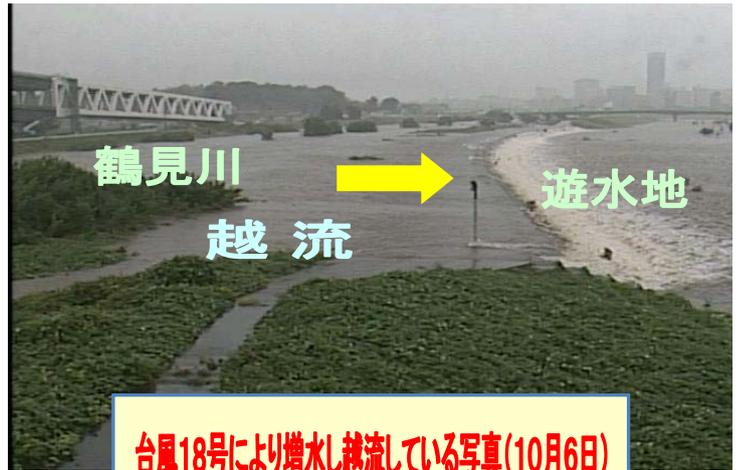
京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
鶴見・新横浜出張所発行
(代表) 鶴見出張所
電話045-501-3038
2014年10月10日【第19号】

鶴見川多目的遊水地に過去最大の流入量(154万m³)がありました

大型で強い台風18号は九州の南を北上し、向きを東よりに変えて、強い勢力を維持したまま、10月6日8時過ぎに静岡県浜松市付近に上陸し、昼過ぎには関東の東海上に抜けました。鶴見川流域では、5日4時頃から6日11時頃にかけて降雨をもたらし、鶴見川流域センター(横浜市)では1時間に最大46mmの激しい降雨を観測しました。流域全体では総雨量が300mm前後の降雨となりました。

鶴見川流域では、台風本体による降雨により、5日朝からの豪雨により、水位が急激に上昇しました。亀の子橋で避難判断水位(6.70m)を超える6.97m、鳥山川の鳥山で計画高水位(3.36m)を超える3.62mを記録し、非常に危険な状況となりました。また、鶴見川多目的遊水地では、過去最大となる流入量(約154万m³)を記録し、洪水調節の機能を発揮しました。



詳しいことは、京浜河川事務所のHPで



鶴見公会堂でシンポです

RCM鶴見川分会開催

鶴見川流域水マスタープラン(水マス)10周年記念連続シンポジウム 第3回

あなたの街にもやってくる
**温暖化豪雨時代と
ドラゴンゾーン**

<横浜市鶴見区・川崎市幸区>は
鶴見川と多摩川、二つの川の洪水が
行政区を越えてやってくる
ドラゴンがうねる共通氾濫域と
その周辺の危機を知る

2014
11/1(土)

要申込・参加無料
定員200名 締め切り10/31
(ただし定員になった時点で締め切り)
申し込みは裏面へ

講演 シンポジウム 13:30-16:00 13:00開場
鶴見公会堂 ホール

【コメンテーター】
岸 由二氏 (慶應義塾大学名誉教授)
小山和雄氏 (鶴見区自治連合会会長)
【パーソナリティ】
柳澤博一氏 (エディター/プロデューサー)

【パネリスト】
土田和典氏 (鶴見川マラソンフェスティバル実行委員長)
庄町佳子氏 (天上川流域ネットワーク代表)
児島有志 (横浜市立下東吉小学校)
横浜市鶴見区役所 国土交通省京浜河川事務所

パネル展示 10/12(日)～10/19(日)10:00-21:00 (トレッサ横浜)
10/23(木)～10/25(土) 9:00-17:00 (イッコーカード建設) 詳細は予定
水マスの取り組みと地球温暖化を紹介

第4回 温暖化豪雨時代の懸念！ 身近な自然「水と緑の魅力」と治水力 12月13日(土)13:30～16:00 アートフォーラムあざみ野

主催：鶴見川流域水協議会（国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市）
協力：アジア航測株式会社・あまお川の会
鶴見川流域水マスタープラン（水マス）10周年記念シンポジウム事務局
TEL:045-633-4133 FAX:045-546-4344 Eメール:entry20140914@tr-net.gr.jp

京浜河川事務所には、『リバーシビックマネージャー』（RCM という）という制度があります。鶴見川下流部（鶴見出張所管内）と中流部（新横浜出張所管内）に登録している RCM の方が、9月25日（木）午後、鶴見川流域センター会議室に集まり、合同の分科会を開催しました。（上流6名、下流6名登録）

この分科会には、4名の RCM の方と職員6名が参加しました。会議は、京浜河川事務所から『河川管理の話題』を提供し、鶴見出張所長、新横浜出張所長が、工事や河川管理面での話題提供を行いました。

その後、RCMの方と活動報告とゴミや環境問題を含めた意見交換会を行いました。

その後、流域センター屋上から鶴見川多目的遊水地などの紹介を行い閉会しました。



鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

この流域センターの来館者は、4月以来半年間で約1.6万名を迎え、平成15年9月に開館して以来、約22万名の来館者が訪れています。

鶴見川流域センターでは、10月を生物多様性月間として展示内容を変更しています。アユの展示も今月中旬までです。

ぜひ、ご来館し見学して下さい。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081
電話 045-475-1998
(鶴見川流域センター直通)

あ と が き

台風18号の影響による豪雨で10月6日（月）8時55分頃から鶴見川多目的遊水地に流入が始まりました。この流入は13時20分頃まで続き、平成15年6月に運用を開始してから、この11年間で最高の流入量となりました。

こういう施設の効果で、下流域での水位上昇は抑えられていますが、鶴見川支川の矢上川、早淵川、鳥山川などでは急激な水位上昇があり、鳥山川では計画高水位を超える時間帯もありました。

まだ、台風が来襲する可能性があります。また、急な雷雨や豪雨などに出会うこともあると思います。携帯電話やスマホに国土交通省の河川情報や気象庁の気象情報を見ることができるホームページなどを登録しておくことをお勧めします。

11月からは、河川の工事が本格的に始まります。安全上のために堤防上の道路を通行止めにする区間もありますが、河川を利用される皆様のご協力をお願いします。

堤防上の道路に看板等を立て詳細のお知らせを行います。

よろしくお祈りします。